

注3

大学番号：国041

[平成28年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

信州大学大学院 総合理工学研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 信州大学

平成28年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 経営企画部経営企画課

職名・氏名 主査 藤 原 詩 穂

電話番号 0263-37-2122

（夜間） 0263-37-2122

F A X 0263-37-3484

e-mail kikaku_gakuji@gm.shinshu-u.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学部名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

目次

総合理工学研究科

<理学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	4
2. 授業科目の概要	8
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	19
6. 留意事項等に対する履行状況等	23
7. その他全般的事項	24

<工学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	26
2. 授業科目の概要	30
3. 施設・設備の整備状況、経費	39
4. 既設大学等の状況	40
5. 教員組織の状況	44
6. 留意事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	49

<繊維学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	51
2. 授業科目の概要	55
3. 施設・設備の整備状況、経費	62
4. 既設大学等の状況	63
5. 教員組織の状況	67
6. 留意事項等に対する履行状況等	71
7. その他全般的事項	72

＜農学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	74
2. 授業科目の概要	78
3. 施設・設備の整備状況、経費	83
4. 既設大学等の状況	84
5. 教員組織の状況	88
6. 留意事項等に対する履行状況等	92
7. その他全般的事項	93

＜生命医工学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	95
2. 授業科目の概要	99
3. 施設・設備の整備状況、経費	104
4. 既設大学等の状況	105
5. 教員組織の状況	109
6. 留意事項等に対する履行状況等	113
7. その他全般的事項	114

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

〔松本キャンパス〕	〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
〔長野（工学）キャンパス〕	〒380-8553 長野県長野市若里4丁目17番1号
〔上田キャンパス〕	〒386-8567 長野県上田市常田3丁目15番1号
〔伊那キャンパス〕	〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
 (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
 平成28年度に報告する内容 → (28)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等 の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合理工学研究科 理学専攻 修士(理学)	2 年	75 人	150 人	基礎となる学部等 理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	75 (若干人) [若干人]		75 () []		75 () []		0.73倍	
志願者数	62 (0) [0]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
受験者数	60 (0) [0]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
合格者数	56 (0) [0]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
B 入学者数	55 (0) [0]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]	— (—) [—]		
入学定員超過率 B/A	0.73							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 55	[-] (-) 0	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[-] (-) 55	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	55 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合 計	55 人	0 人					0.0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合理工学研究科 理学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	Introduction to Modern Astrophysics	1・2前		2							兼1	
	MOT特論	1・2通		2							兼1	
	産学連携特別講義	1・2通		2							兼1	
	国際連携特別講義I	1・2通		1							兼1	
	国際連携特別講義II	1・2通		1							兼1	
	科学英語	1・2後		2							兼1	
	大学院と社会	1・2前		2							兼1	
	臨床医学概論	1・2後		2							兼14 兼5	教員配置見直しのため (28)
	研究者倫理特別講義 (CITI-Japan&講義)	1・2前	2								兼2 兼1	教員配置見直しのため (28)
	科学技術政策特論	1・2後		2							兼2 兼1	教員配置見直しのため (28)
学外特別講義 (長期)	1・2通		2							兼1		
学外特別実習 (長期)	1・2通		2							兼1		
科共通 目専攻	先端科学特別講義A	1後		2		6	8 5	1 +	2			教員の昇進のため (28)
	先端科学特別講義B	1後		2		12 10	3 5					教員の昇進のため (28)
数学分野	群論と対称性	1・2前		2		1	1	+				教員の昇進のため (28)
	多元環論	1・2後		2		1	1		+			教員の昇進のため (28)
	代数的トポロジー	1・2前		2		2						
	微分トポロジー	1・2後		2		1	3 2		+			教員の昇進のため (28)
	関数環論	1・2前		2		1						
	偏微分方程式論	1・2後		2		1						
	数理現象学	1・2前		2			2					
	確率解析学	1・2後		2			2					
	代数学特論	1前		2		1	2	+	+			教員の昇進のため (28)
	幾何学特論	1前		2		2	2 +		+			教員の昇進のため (28)
	解析学特論	1前		2		3						
	数理科学特論	1前		2			4					
	先端代数学 I	2前		2		1	2	+	+			教員の昇進のため (28)
	先端幾何学 I	2前		2		2	2 +		+			教員の昇進のため (28)
	先端解析学 I	2前		2		3						
	先端数理科学 I	2前		2			4					
	先端代数学 II	2後		2		1	2	+	+			教員の昇進のため (28)
	先端幾何学 II	2後		2		2	2 +		+			教員の昇進のため (28)
	先端解析学 II	2後		2		3						
	先端数理科学 II	2後		2			4					
	代数学演習 I	1通		4		1	2	+	+			教員の昇進のため (28)
	幾何学演習 I	1通		4		2	2 +		+			教員の昇進のため (28)
	解析学演習 I	1通		4		3						
	数理科学演習 I	1通		4			4					
代数学演習 II	2通		4		1	2	+	+			教員の昇進のため (28)	
幾何学演習 II	2通		4		2	2 +		+			教員の昇進のため (28)	
解析学演習 II	2通		4		3							
数理科学演習 II	2通		4			4						

	特別研究	2通	4		6	8 5	1	2			教員の昇進のため (28)
	実務体験実習	1・2通		2	1						
物理学 ユニット	磁性物質論	1・2後		2		1					
	固体物性物理学	1前		2	1						
	磁気共鳴論	1・2前		2	1						
	統計物理学	1前		2		1					
	光エレクトロニクス	1・2前		2		1					
	光物性物理学演習Ⅰ	1通		4		1					
	光物性物理学演習Ⅱ	2通		4		1					
	物性物理学演習Ⅰ	1通		4	1	1					
	物性物理学演習Ⅱ	2通		4	1	1					
	磁性物理学演習Ⅰ	1通		4	1	2					
	磁性物理学演習Ⅱ	2通		4	1	2					
	高エネルギー理論	1後		2						兼1	
	宇宙線物理学	1後		2	2	1					
	高エネルギー実験	1前		2	1	1					
	物理と対称性	1・2前		2	1						
	場の理論Ⅰ	1・2前		2		1					
	場の理論Ⅱ	1・2後		2	1						
	宇宙放射線計測学	1前		2	2	1					
	観測天文学演習Ⅰ	1通		4		1					
	観測天文学演習Ⅱ	2通		4		1					
	宇宙線物理学演習Ⅰ	1通		4	1	1					
	宇宙線物理学演習Ⅱ	2通		4	1	1					
	高エネルギー物理学演習Ⅰ	1通		4	1	1					
	高エネルギー物理学演習Ⅱ	2通		4	1	1					
	素粒子物理学演習Ⅰ	1通		4	2	1					
	素粒子物理学演習Ⅱ	2通		4	2	1					
	実務体験実習	1・2通		2	1						
化学 ユニット	計測化学特論	1・2前		2	1			1			教員配置見直しのため (28)
	電気化学	1・2後		2	1						
	量子化学	1・2前		2	1						
	化学計測学	1・2後		2		1					
	分子物質変換学	1・2後		2						兼1	
	分光化学	1・2後		2		1					
	反応有機化学演習Ⅰ	1通		4	1	1		1			
	反応有機化学演習Ⅱ	2通		4	1	1		1			
	物性物理化学演習Ⅰ	1通		4	1	1		1			
	物性物理化学演習Ⅱ	2通		4	1	1		1			
	分子反応化学	1・2前		2				1			
	界面物性科学	1・2後		2		1					
	分子合成化学	1・2後		2		1					
	複素環化学	1・2前		2	1						
	超分子化学	1・2前		2	2 4	4		1			教員の昇進のため (28)
	構造無機化学演習Ⅰ	1通		4	1	1				兼1	
	構造無機化学演習Ⅱ	2通		4	1	1				兼1	
計測分離化学演習Ⅰ	1通		4	2	1		1			教員配置見直しのため (28)	
計測分離化学演習Ⅱ	2通		4	2	1		1			教員配置見直しのため (28)	
実務体験実習	1・2通		2	1							
理科学分野 地球学 ユニット	古環境復元論	1後		2	1	4					教員の昇進のため (28)
	古環境変動論	1前		2		1					
	地殻構造形成論	1後		2	1						
	シーケンス層序学	1前		2	1					1	
	変形構造解析論	1前		1							
	地層科学演習Ⅰ	1通		4	3 2	1 2		1			教員の昇進のため (28)
	地層科学演習Ⅱ	2通		4	3 2	1 2		1			教員の昇進のため (28)
	相平衡岩石学	1前		2	1						
	鉱物変移論	1後		2	1						

- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。）
- ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度設置以前）についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 3	科目 145	科目 0	科目 148	科目 3	科目 145	科目 0	科目 148	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2				該当なし		
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2				該当なし		
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.05	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	900	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大字西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	—	100	学士(経済学)	1.07	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	—	80	学士(法学)	1.17	〃	〃	〃
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科 (各学科共通)	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 10	108	〃	1.04	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	—	302	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	703	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	〃
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	〃
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.00	平成15年度	〃	〃

理学療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.10	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃
作業療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度	〃	〃
工学部									
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
社会開発工学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成20年度より学生募集停止
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度	〃	平成28年度より学生募集停止
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
物質化学科	4	95	—	95	学士(工学)	1.02	平成28年度	〃	〃
電気情報システム工学科	4	170	—	170	〃	1.04	〃	〃	〃
水環境・土木工学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃	〃	〃
機械システム工学科	4	100	—	100	〃	1.09	〃	〃	〃
建築学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃	〃	〃
農学部									
食料生産科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
応用生命科学科 (各学科共通)	4	—	3年次 ₁₀	—	〃	—	〃	〃	〃
農学生命科学科	4	170	—	340	〃	1.06	平成27年度	〃	〃
繊維学部									
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃	〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65	—	65	学士(工学)	1.09	平成28年度	〃	〃
機械・ロボット学科	4	60	—	60	〃	1.03	〃	〃	〃
化学・材料学科	4	105	—	105	〃	1.01	〃	〃	〃
応用生物科学科	4	50	—	50	学士(農学)	1.00	〃	〃	〃

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	〃	1.40	〃	〃	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		28	修士(教育学)	1.41	平成3年度	長野県長野市大学西長野6の口	平成28年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	
高度教職実践専攻	2	20		20	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	〃	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.91	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.90	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
数理・自然情報科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
物質基礎科学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
地球生物圏科学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃
電気電子工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
土木工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
建築学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
情報工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
環境機能工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
繊維・感性工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	〃
機械・ロボット学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
化学・材料専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	〃	〃	〃
農学研究科									
食料生産科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成13年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
森林科学専攻	2	—		—	〃	—	平成4年度	〃	〃
応用生命科学専攻	2	—		—	〃	—	平成13年度	〃	〃
機能性食料開発学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		75	修士(理学)	0.73	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		240	修士(工学)	1.00	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		160	修士(工学) 修士(農学)	1.18	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		65	修士(農学)	0.89	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		35	修士(医工学)	1.08	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科									
医科学専攻（修士課程）	2	12		24	修士(医科学)	1.08	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14		28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.14	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40		160	博士(医学)	1.04	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8		32	〃	1.02	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工学医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4		12	博士(保健学)	1.33	平成21年度	〃	
総合工学系研究科									
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15		45		0.75	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12		36	博士(学術)	1.02	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号	
物質創成科学専攻	3	7		21	博士(理学)	0.71	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
山岳地域環境科学専攻	3	8		24	博士(工学)	0.74	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
生物・食料科学専攻	3	7		21	博士(農学)	1.09	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
法曹法務研究科									
法曹法務専攻	3	—		—	法務博士(専門職)	—	平成17年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合理工学研究科 理学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
33	32	1	6	72	35	32	0	6	73	35	32	0	6	73
(35)	(32)	(0)	(6)	(73)						[2]	[0]	[Δ1]	[0]	[1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
72	0	0			73	0	0			73	0	0		
(73)	(0)	(0)								[1]	[0]	[0]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用している教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)				後任補充状況の集計 (B) + (D)						
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した**全専任教員**について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<総合理工学研究科 理学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成 28年 6月 1日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

〔松本キャンパス〕	〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
〔長野（工学）キャンパス〕	〒380-8553 長野県長野市若里4丁目17番1号
〔上田キャンパス〕	〒386-8567 長野県上田市常田3丁目15番1号
〔伊那キャンパス〕	〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
 (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
 平成28年度に報告する内容 → (28)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等 の名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総理工学研究科 工学専攻 修士(工学)	2 年	240 人	480 人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	240 (若干人) [若干人]		人 人 () []		人 人 () []		1.00倍	
志願者数	263 (0) [14]	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	257 (0) [14]	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	254 (0) [11]	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	240 (0) [11]	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.00							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[11] (-) 240	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計	[11] (-) 240	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、**留年者の状況**について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	240 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合 計	240 人	0 人					0.0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合理工学研究科 工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
研究科共通科目	Introduction to Modern Astrophysics	1・2前		2				1						
	MOT特論	1・2通		2								兼1		
	産学連携特別講義	1・2通		2								兼1		
	国際連携特別講義I	1・2通		1								兼1		
	国際連携特別講義II	1・2通		1								兼1		
	科学英語	1・2後		2								兼1		
	大学院と社会	1・2前		2								兼1		
	臨床医学概論	1・2後		2								兼14 兼5	教員配置見直しのため(28)	
	研究者倫理特別講義 (CITI-Japan&講義)	1・2前	2									兼2 兼1	教員配置見直しのため(28)	
	科学技術政策特論	1・2後		2								兼2 兼1	教員配置見直しのため(28)	
	学外特別講義 (長期)	1・2通		2			1							
学外特別実習 (長期)	1・2通		2			1								
専攻目共通科目	実験的工学手法	1前・後	2			5							時間割調整のため (28)	
	応用数学特論	1後		2		1								
	応用物理学特論	1前		2		1								
物質化学分野	先進材料工学ユニット	無機材料工学特論	1・2前	2		1								
		無機材料工学演習	1・2通	2		1								
		無機材料工学特別実験 I	1通	2		1								
		無機材料工学特別実験 II	2通	2		1								
		無機材料化学特論	1・2後前	2				1						時間割調整のため (28)
		無機材料化学演習	1・2通	2			1							
		無機材料化学特別実験 I	1通	2			1							
		無機材料化学特別実験 II	2通	2			1							
		材料表面工学	1・2前	2		1				1				教員配置見直しのため(28)
		電気化学演習	1・2通	2		1				1				教員配置見直しのため(28)
		電気化学特別実験 I	1通	2		1				1				教員配置見直しのため(28)
		電気化学特別実験 II	2通	2		1				1				教員配置見直しのため(28)
		機器分析化学特論	1・2後	2				1						
		機器分析化学演習	1・2通	2				1						
		機器分析化学特別実験 I	1通	2				1						
		機器分析化学特別実験 II	2通	2				1						
		先進材料化学特論	1・2前	2		1	1			1				
		先進材料化学演習	1・2通	2		1	1			1				
		先進材料化学特別実験 I	1通	2		1	1			1				
		先進材料化学特別実験 II	2通	2		1	1			1				
	光化学特論	1・2後	2			1								
	光化学演習	1・2通	2			1								
	光化学特別実験 I	1通	2			1								
	光化学特別実験 II	2通	2			1								
	機能物質化学特論	1・2前後	2				1						時間割調整のため (28)	
	機能物質化学演習	1・2通	2				1							
	機能物質化学特別実験 I	1通	2				1							
	機能物質化学特別実験 II	2通	2				1							
	分子工学ユニット	有機合成化学特論	未開講 1・2後		2		1							隔年開講のため (28)
		分子集合体化学特論	1・2後		2		1							
		有機合成化学演習	1・2通		2		1							
		分子集合体化学演習	1・2通		2		1							
		有機合成化学特別実験 I	1通		2		1							
		有機合成化学特別実験 II	2通		2		1							
		分子集合体化学特別実験 I	1通		2		1							
		分子集合体化学特別実験 II	2通		2		1							
		コロイド・界面科学特論	1・2前		2			1						
		コロイド・界面科学演習	1・2通		2			1						
	コロイド・界面科学特別実験 I	1通		2			1							
	コロイド・界面科学特別実験 II	2通		2			1							
触媒設計論	1・2前後		2			1						時間割調整のため (28)		
触媒設計演習	1・2通		2			1								
触媒設計特別実験 I	1通		2			1								
触媒設計特別実験 II	2通		2			1								
高速化学反応論	未開講 1・2後		2			1						隔年開講のため (28)		
高速化学反応演習	1・2通		2			1								
高速化学反応特別実験 I	1通		2			1								

	高速化学反応特別実験Ⅱ	2通		2		1						
	精密合成化学特論	1・2前		2				1				
	精密合成化学演習	1・2通		2				1				
	精密合成化学特別実験Ⅰ	1通		2				1				
	精密合成化学特別実験Ⅱ	2通		2				1				
バイオ・プロセス工学ユニット	生物化学特論	1・2前		2						兼2		
	分子生物学特論	1・2前		2						兼1		
	応用生物学特論	未開講 1・2後		2		1					隔年開講のため(28)	
	生物化学工学特論	1・2後		2		1						
	バイオ・プロセス工学演習Ⅰ	1・2通		2						兼1		
	バイオ・プロセス工学演習Ⅱ	1・2通		2						兼1		
	バイオ・プロセス工学特別実験Ⅰ	1・2通		4		1						
	バイオ・プロセス工学特別実験Ⅱ	1・2通		4		1						
	食品バイオテクノロジー	1前		2		1					兼3	
	応用食品プロセス工学	1前		2		1						
	食品科学	1前		2							兼1	カリキュラム見直しにより科目追加(28)
	食品バイテク実習	1前		1		1					兼2	カリキュラム見直しにより科目追加(28)
	食品プロセス実習	1通		1		2					兼1	カリキュラム見直しにより科目追加(28)
分野共通	機能的食品特別講義Ⅰ	1・2通		1						兼1	カリキュラム見直しにより科目追加(28)	
	機能的食品特別講義Ⅱ	未開講 1・2通		1						兼1	カリキュラム見直しにより科目追加(28) 隔年開講のため(28)	
	応用解析学特論	1後		2		1						
	数理解析特論	1後		2		1						
	応用数学演習Ⅰ	1・2通		2		1			1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学演習Ⅱ	1・2通		2		1			1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学演習Ⅲ	1・2通		2		1			1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅰ	1・2通		4		1			1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅱ	1・2通		4		1			1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅲ	1・2通		4		1			1		教員配置見直しのため(28)	
	物理工学特論Ⅰ	1後		2		1						
	物理工学特論Ⅱ	1前		2		1						
	応用物理演習Ⅰ	1通		2		1						
応用物理演習Ⅱ	2通		2		1							
応用物理特別実験Ⅰ	1通		4		1							
応用物理特別実験Ⅱ	2通		4		1							
学外特別講義	1・2通		2		1							
学外特別実習Ⅰ	1・2通		2		1							
学外特別実習Ⅱ	1・2通		2		1							
(研究指導)	1・2通				7	13			4			
電気電子ユニット	CMOSアナログ集積回路設計	1後		2		1						
	電子材料特論	1前		2		1			2 +		教員配置見直しのため(28)	
	電子材料演習	1通		2		1			1			
	CMOSアナログ集積回路設計演習	1通		2		1						
	結晶成長演習	1通		2		1						
	電子材料特別実験	1通		4		1			1			
	CMOSアナログ集積回路設計特別実験	1通		4		1						
	結晶成長特別実験	1通		4		1						
	電子デバイス特論	1後		2		1						
	強誘電体材料特論	1後		2		1						
	エネルギーデバイス特論	1後		2		1						
	光エレクトロニクス特論	1前		2		1						
	結晶成長特論	1後		2		1						
	電子デバイス演習	1通		2		1						
	強誘電体材料演習	1通		2		1						
	光エレクトロニクス演習	1通		2		1						
	エネルギーデバイス演習	1通		2		1						
	電子デバイス特別実験	1通		4		1						
	強誘電体材料特別実験	1通		4		1						
	光エレクトロニクス特別実験	1通		4		1						
	エネルギーデバイス特別実験	1通		4		1						
	電気回路特論	1前		2		1						
	磁気回路特論	1前		2		1			1		教員配置見直しのため(28)	
	電気回路システム演習	1通		2		1						
	磁気回路システム演習	1通		2		1			1		教員配置見直しのため(28)	
	電気回路システム特別実験	1通		4		1						
	磁気回路システム特別実験	1通		4		1			1		教員配置見直しのため(28)	
	電気エネルギー変換工学	1後		2		1						
	パワーマグネティックス演習	1通		2		1						
	パワーマグネティックス特別実験	1通		4		1						
知覚情報論	1前		2		1							
電気電子工学特論	1後		2		1							
ソフトウェア工学特論	1後		2		1							
モバイル制御特論	2前		2		1							

通信システムユニット	航空宇宙工学特論	2前	2	1						
	信号検出特論	1前	2	1						
	誤り訂正符号特論	1前	2	1						
	無線信号処理特論	1後	2		1					
	無線通信システム設計特論	1後	2		1					
	情報処理特論	1前	2	1			1			
	情報理論特論	1前	2		1					
	情報システム工学特論	1後	2		1					
	信号検出演習	1・2通	2		1					
	誤り訂正符号演習	1・2通	2		1					
	無線通信システム設計演習	1・2通	2		1					
	無線信号処理演習	1・2通	2		1					
	情報処理演習	1・2通	2		1			1		
	情報理論演習	1・2通	2			1				
	情報システム工学演習	1・2通	2			1				
	信号検出特別実験	1・2通	4	1						
	誤り訂正符号特別実験	1・2通	4	1						
	無線通信システム設計特別実験	1・2通	4		1					
	無線信号処理特別実験	1・2通	4		1					
	情報処理特別実験	1・2通	4	1				1		
情報理論特別実験	1・2通	4		1						
情報システム工学特別実験	1・2通	4		1						
情報システムユニット	プログラミング言語特論	1・2後	2		1					
	計算理論	1・2前	2		1					
	情報基礎特論Ⅰ	1・2通	2		1					
	情報基礎特論Ⅱ	1・2前後	2			1				時間調整のため(28)
	情報基礎特論Ⅲ	未開講 1・2後	2			1				隔年開講のため(28)
	情報基礎演習Ⅰ	1通	2		1	1				
	情報基礎演習Ⅱ	1通	2			1		1		
	情報基礎演習Ⅲ	2通	2	1	1					
	情報基礎演習Ⅳ	2通	2		1			1		
	情報基礎特別実験Ⅰ	1通	4		1	1				
	情報基礎特別実験Ⅱ	1通	4			1		1		
	情報基礎特別実験Ⅲ	2通	4	1	1					
	情報基礎特別実験Ⅳ	2通	4		1			1		
	知能情報特論Ⅰ	未開講 1・2前	2		1					隔年開講のため(28)
	知能情報特論Ⅱ	1・2通	2		1					
	知能情報特論Ⅲ	1・2通	2		1					
	知能情報特論Ⅳ	1・2後	2			1				
	知能情報演習Ⅰ	1通	2		1	1		1		
	知能情報演習Ⅱ	1通	2		1	1				
	知能情報演習Ⅲ	2通	2	1	1			1		
	知能情報演習Ⅳ	2通	2		1	1				
	知能情報演習Ⅴ	2通	2	1	1			1		
	知能情報特別実験Ⅰ	1通	4		1	1		1		
	知能情報特別実験Ⅱ	1通	4		1	1				
	知能情報特別実験Ⅲ	2通	4		1	1		1		
	知能情報特別実験Ⅳ	2通	4		1	1				
	知能情報特別実験Ⅴ	2通	4		1	1		1		
	計算機システム特論	1・2前	2		1					
	計算機デバイス特論	1・2後	2			1				
	情報システム特論Ⅰ	未開講 1・2前	2			1				隔年開講のため(28)
	情報システム特論Ⅱ	1・2前	2		1					
	情報システム演習Ⅰ	1通	2		1					
	情報システム演習Ⅱ	1通	2		1	2				
	情報システム演習Ⅲ	1通	2		1					
	情報システム演習Ⅳ	2通	2		1	2				
	情報システム演習Ⅴ	2通	2		1	2				
	情報システム特別実験Ⅰ	1通	4		1					
	情報システム特別実験Ⅱ	1通	4		1	2				
	情報システム特別実験Ⅲ	2通	4		1					
	情報システム特別実験Ⅳ	2通	4		1	2				
	情報システム特別実験Ⅴ	2通	4		1	2				
	情報計測特論Ⅰ	未開講 1・2後	2					1		隔年開講のため(28)
	情報計測特論Ⅱ	未開講 1・2後	2			1				隔年開講のため(28)
応用情報工学Ⅰ	未開講 1・2後	2			1				隔年開講のため(28)	
応用情報工学Ⅱ	1・2前	2		1						
応用情報工学Ⅲ	1・2通	2			1					
情報計測演習Ⅰ	1通	2		1	2				教員配置見直しのため(28)	
情報計測演習Ⅱ	1通	2		1			1			
情報計測演習Ⅲ	2通	2		1	2				教員配置見直しのため(28)	
情報計測演習Ⅳ	2通	2		1			1			
情報計測特別実験Ⅰ	1通	4		1	2				教員配置見直しのため(28)	
情報計測特別実験Ⅱ	1通	4		1			1			

情報計測特別実験Ⅲ	2通	4	1	±2				教員配置見直しのため(28)
情報計測特別実験Ⅳ	2通	4	1			1		
情報メディア学特論Ⅰ	1・2前	2	1					
情報メディア学特論Ⅱ	1・2後	2		1		±		教員配置見直しのため(28)
情報メディア学特論Ⅲ	1・2前	2	1					
情報メディア学演習Ⅰ	1通	2	1			2		
情報メディア学演習Ⅱ	1通	2	1			2		
情報メディア学演習Ⅲ	2通	2		1				
情報メディア学演習Ⅳ	2通	2		1				
情報メディア学特別実験Ⅰ	1通	4	1			2		
情報メディア学特別実験Ⅱ	1通	4	1			2		
情報メディア学特別実験Ⅲ	2通	4		1				
情報メディア学特別実験Ⅳ	2通	4		1				
情報セキュリティ特論	1・2前	2	1					
セキュリティ社会システム特論	未開講 1・2前	2	1					隔年開講のため(28)
情報セキュリティ演習Ⅰ	1通	2		1		1		
情報セキュリティ演習Ⅱ	2通	2		1		1		
情報セキュリティ特別実験Ⅰ	1通	4		1		1		
情報セキュリティ特別実験Ⅱ	2通	4		1		1		
応用解析学特論	1後	2		1				
数理解析特論	1後	2		1				
応用数学演習Ⅰ	1・2通	2	1			1		教員配置見直しのため(28)
応用数学演習Ⅱ	1・2通	2		1		1		教員配置見直しのため(28)
応用数学演習Ⅲ	1・2通	2		1		1		教員配置見直しのため(28)
応用数学特別実験Ⅰ	1・2通	4	1			1		教員配置見直しのため(28)
応用数学特別実験Ⅱ	1・2通	4		1		1		教員配置見直しのため(28)
応用数学特別実験Ⅲ	1・2通	4		1		1		教員配置見直しのため(28)
物理工学特論Ⅰ	1後	2		1				
物理工学特論Ⅱ	1前	2		1				
応用物理演習Ⅰ	1通	2		1				
応用物理演習Ⅱ	2通	2		1				
応用物理特別実験Ⅰ	1通	4		1				
応用物理特別実験Ⅱ	2通	4		1				
学外特別講義	1・2通	2		1				
学外特別実習Ⅰ	1・2通	2		1				
学外特別実習Ⅱ	1・2通	2		1				
(研究指導)	1・2通		18	22		11		
水処理工学特論	1後	2		1				
水処理工学演習	1通	4		1				
水処理工学特別実験	1通	4		1				
資源エネルギーデバイス材料工学特論	1・2前後	2	1					時間割調整のため(28)
資源エネルギーデバイス材料工学演習	1・2通	4	1					
資源エネルギーデバイス材料工学特別実験	1・2通	4	1					
水環境化学特論	1・2前後	2		1				時間割調整のため(28)
水環境化学演習	1・2通	4		1				
水環境化学特別実験	1・2通	4		1				
ナノカーボン分離工学特論	未開講 1・2前 1前	2		1				時間割調整のため(28) 隔年開講のため(28)
ナノカーボン分離工学演習	1通	4		1				
ナノカーボン分離工学特別実験	1通	4		1				
カーボンエレクトロニクス工学特論	1前	2				1		
カーボンエレクトロニクス工学演習	1通	4				1		
カーボンエレクトロニクス工学特別実験	1通	4				1		
橋梁工学特論	1前	2		1				
橋梁工学演習	1通	4		1				
橋梁工学特別実験	1通	4		1				
水文学特論	1前	2		1				
水文学演習	1通	4		1				
水文学特別実験	1通	4		1				
地域・交通計画特論	1・2後	2		1				
地域・交通計画演習	1・2通	4		1				
地域・交通計画特別実験	1・2通	4		1				
地盤環境工学特論	1後	2		1				
地盤環境工学演習	1通	4		1				
地盤環境工学特別実験	1通	4		1				
土木構造物の劣化診断特論	1・2後	2				1		
土木構造物の劣化診断演習	1・2通	4				1		
土木構造物の劣化診断特別実験	1・2通	4				1		
地盤防災工学	1前	2		1				
地盤防災演習	1通	4		1				
地盤防災特別実験	1通	4		1				
水資源特論	1後	2		1				
水資源演習	1通	4		1				
水資源特別実験	1通	4		1				
水保全工学特論	1後	2				1		

水環境・土木学分野

分野共通	水保全工学演習	1通	4				1			
	水保全工学特別実験	1通	4				1			
	数値解析特論	1後	2	1						
	数値解析演習	1通	4	1						
	数値解析特別実験	1通	4	1						
	計算構造力学	1・2前	2		1					
	計算構造力学演習	1・2通	4		1					
	計算構造力学特別実験	1・2通	4		1					
	地域環境計画特論	1・2後	2		1					
	地域環境計画演習	1・2通	4		1					
	地域環境計画特別実験	1・2通	4		1					
	応用解析学特論	1後	2		1					
	数理解析特論	1後	2		1					
	応用数学演習Ⅰ	1・2通	2		1		1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学演習Ⅱ	1・2通	2			1	1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学演習Ⅲ	1・2通	2			1	1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅰ	1・2通	4		1		1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅱ	1・2通	4			1	1		教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅲ	1・2通	4			1	1		教員配置見直しのため(28)	
	物理工学特論Ⅰ	1後	2			1				
	物理工学特論Ⅱ	1前	2			1				
	応用物理演習Ⅰ	1通	2			1				
	応用物理演習Ⅱ	2通	2			1				
	応用物理特別実験Ⅰ	1通	4			1				
	応用物理特別実験Ⅱ	2通	4			1				
	学外特別講義	1通	2			1				
	学外特別実習	1通	2			1				
	(研究指導)	1・2通			6	12		4		
	精密知能機械ユニット	システム制御特論	1前	2		1		±		教員配置見直しのため(28)
		精密機構特論	1後	2		1				
機械システム制御特論		1前	2			1				
計測システム特論		1前	2			1				
精密知能機械演習Ⅰ		1通	2			1				
精密知能機械演習Ⅱ		1通	2			1				
精密知能機械特別実験Ⅰ		1通	4			1				
精密知能機械特別実験Ⅱ		2通	4			1				
環境機械ユニット	機械加工学特論	1後	2		1		1			
	動的システム設計特論	1後	2		1		1			
	塑性加工学特論	1後	2			1				
	構造物工学特論	1前	2			1				
	固体力学特論	1前	2				1			
	エコマテリアル特論	1前	2		1					
	材料環境強度学特論	1後前	2			1			時間調整のため(28)	
	計算力学特論	1前	2				1			
	最適設計学特論	1後	2		1					
	環境機械演習Ⅰ	1通	2			1				
	環境機械演習Ⅱ	1通	2			1				
機械物理ユニット	環境機械特別実験Ⅰ	1通	4			1				
	環境機械特別実験Ⅱ	2通	4			1				
	乱流輸送現象特論	1前	2		1					
	熱流体数値計算特論	1後	2		1		1			
	伝熱工学特論	1後	2			± 2			教員配置見直しのため(28)	
	流体力学特論	1後	2			1				
	熱流動解析学特論	1前	2			1				
	機械物理演習Ⅰ	1通	2			1				
	機械物理演習Ⅱ	1通	2			1				
	機械物理特別実験Ⅰ	1通	4			1				
機械物理特別実験Ⅱ	2通	4			1					
機械システム工学分野 分野共通	超精密加工実習Ⅰ	1・2通	1		1	1				
	超精密加工実習Ⅱ	1・2通	1		1	1				
	超精密加工実習Ⅲ	1・2通	1		1	1				
	超精密加工実習Ⅳ	1・2通	1		1	1				
	先端精密加工実習	1・2後	1			1				
	超精密加工学特論Ⅰ	1・2前	2		1					
	超精密加工学特論Ⅱ	1・2前	2			1				
	超精密加工学特論Ⅲ	1・2前	1			1			兼2	
	発明的問題解決理論	1・2後	1			1				
	表面処理・計測評価技術特論	1・2通	2			1			兼1	
	先端材料学特論	1・2後	1						兼1	
	精密位置決め技術特論	1・2後	2			3				
	管理技術特論Ⅰ	1・2前	2			1			兼1	
	管理技術特論Ⅱ	1・2前	2			1			兼1	
	機械システム演習Ⅰ	1通	2			1				
	機械システム演習Ⅱ	2通	2			1				
	機械システム特別実験Ⅰ	1通	4			1				

	機械システム特別実験Ⅱ	2通		4		1								
	応用解析学特論	1後		2		1								
	数理解析特論	1後		2		1								
	応用数学演習Ⅰ	1・2通		2		1			1				教員配置見直しのため(28)	
	応用数学演習Ⅱ	1・2通		2		1			1				教員配置見直しのため(28)	
	応用数学演習Ⅲ	1・2通		2		1			1				教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅰ	1・2通		4		1			1				教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅱ	1・2通		4		1			1				教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅲ	1・2通		4		1			1				教員配置見直しのため(28)	
	物理工学特論Ⅰ	1後		2		1								
	物理工学特論Ⅱ	1前		2		1								
	応用物理演習Ⅰ	1通		2		1								
	応用物理演習Ⅱ	2通		2		1								
	応用物理特別実験Ⅰ	1通		4		1								
	応用物理特別実験Ⅱ	2通		4		1								
	学外特別講義	1・2通		2		1								
	学外特別実習	1・2通		2		1								
	(研究指導)	1・2通				10	14	1	5					
建築学 ユニット	建築意匠設計学	1後		2		1								
	建築意匠設計学演習	1通		4		1								
	建築意匠設計学実験	2通		4		1								
	建築意匠設計インターンシップ	1通		4		1								
	建築保存再生設計学	1後		2		1								
	建築保存再生設計学演習	1通		4		1								
	建築保存再生設計学実験	2通		4		1								
	建築保存再生設計インターンシップ	1通		4		1	1							
	サステイナブル建築設計学	1後		2		1								
	サステイナブル建築設計学演習	1通		4		1								
	サステイナブル建築設計学実験	1通		4		1								
	空間構造設計学	1前		2		+				1				教員配置見直しのため(28)
	空間構造設計学演習	1通		4		+				1				教員配置見直しのため(28)
	空間構造設計学特別実験	1通		4		+				1				教員配置見直しのため(28)
	建築構造設計学Ⅰ	1後		2		1								
	マトリクス構造解析演習	2通		4		1								
	マトリクス構造解析実験	2通		4		1								
	建築構造設計学Ⅱ	1前		2		1								
	建築構造設計学演習	1通		4		1								
	建築構造設計学実験	1通		4		1	1							
	建築構造設計インターンシップ	1通		4		1	1							
	建築設備設計学	1前		2		1								
	建築設備設計学演習	1通		4		1								
	建築設備設計学実験	1通		4		1								
	建築設備設計インターンシップ	1通		4		2								
	建築学 分野	建築環境設計学	1後		2		1	1						教員配置見直しのため(28)
		建築環境設計学演習	2通		4		1	1						教員配置見直しのため(28)
		建築環境設計学実験	2通		4		1	1						教員配置見直しのため(28)
		建築心理学	1後		2		1							
		建築心理学演習	1通		4		1							
		建築心理学実験	2通		4		1							
		建築史学特論	1後前		2		1							時間割調整のため(28)
		建築史学演習	1通		4		1							
建築史学実験		2通		4		1								
分野 共通	応用解析学特論	1後		2		1								
	数理解析特論	1後		2		1								
	応用数学演習Ⅰ	1・2通		2		1			1				教員配置見直しのため(28)	
	応用数学演習Ⅱ	1・2通		2		1			1				教員配置見直しのため(28)	
	応用数学演習Ⅲ	1・2通		2		1			1				教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅰ	1・2通		4		1			1				教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅱ	1・2通		4		1			1				教員配置見直しのため(28)	
	応用数学特別実験Ⅲ	1・2通		4		1			1				教員配置見直しのため(28)	
	物理工学特論Ⅰ	1後		2		1								
	物理工学特論Ⅱ	1前		2		1								
	応用物理演習Ⅰ	1通		2		1								
	応用物理演習Ⅱ	2通		2		1								
	応用物理特別実験Ⅰ	1通		4		1								
	応用物理特別実験Ⅱ	2通		4		1								
	学外特別講義	1通		2		1								
	学外特別実習	1通		2		1								
	(研究指導)	1・2通				5	9		3					

サステイナブル人材養成プログラム	エネルギー材料科学特論I	1・2後	2		1							
	エネルギー材料科学特論II	1・2前	2		1	1					兼3	教員配置見直しのため(28)
	エネルギーデバイス総論	1・2前	2		4						兼2	
	エネルギーシステム特論I	1・2後	2		3	1					兼2	
	エネルギーシステム特論II	1・2前	2		1	1						
	サステイナブルウォーターコース	水環境科学特論	1・2前通	2		2 1					兼4	時間割調整, 教員配置見直しのため(28)
	水創成特論	1・2後	2		1 2	4 3					兼2	教員配置見直しのため(28)
	水利用システム特論	1・2後	2		1	3			1		兼3	
	サステイナブルフードコース	食料機能学総論	1・2通	2		1					兼6 兼7	教員配置見直しのため(28)
	食資源利用学総論	1・2通	2								兼7 兼8	教員配置見直しのため(28)
	フードビジネス総論	1・2通	2								兼6 兼7	教員配置見直しのため(28)
	食料生命科学総論	1・2通	2								兼7 兼8	教員配置見直しのため(28)
	食農生産システム工学特論	1・2通	2			4 5	4				兼1	教員配置見直しのため(28)

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
- なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
- ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
- ・ 「配当年次」について, 設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても, 設置時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え直し修正をしてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 427	科目 0	科目 429	科目 2 [0]	科目 432 [5]	科目 0 [0]	科目 434 [5]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	有機合成化学特論	2	1・2後	専門	選択	隔年開講の為
2	高速化学反応論	2	1・2後	専門	選択	隔年開講の為
3	応用生物学特論	2	1・2後	専門	選択	隔年開講の為
4	情報基礎特論Ⅲ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講の為
5	知能情報特論Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講の為
6	情報システム特論Ⅰ	2	1・2前	専門	選択	隔年開講の為
7	情報計測特論Ⅰ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講の為
8	情報計測特論Ⅱ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講の為
9	応用情報工学Ⅰ	2	1・2後	専門	選択	隔年開講の為
10	セキュリティ社会システム特論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講の為
11	ナノカーボン分離工学特論	2	1・2前	専門	選択	隔年開講の為

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2			該当なし			
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

未開講科目は隔年開講で平成29年度に開講するため、学生の履修に影響はない。
「平成28年度履修案内」（冊子）を配布して周知した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = 0.02$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.05	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	900	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大字西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	—	100	学士(経済学)	1.07	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	—	80	学士(法学)	1.17	〃	〃	〃
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科 (各学科共通)	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 10	108	〃	1.04	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	—	302	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	703	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	〃
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	〃
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.00	平成15年度	〃	〃

理学療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.10	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃	
作業療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度		〃	
工学部										
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度		〃	〃
社会開発工学科	4	—	—	—	〃	—	〃		〃	平成20年度より学生募集停止
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度		〃	平成28年度より学生募集停止
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃		〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度		〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度		〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度		〃	〃
物質化学科	4	95	—	95	学士(工学)	1.02	平成28年度		〃	
電気情報システム工学科	4	170	—	170	〃	1.04	〃		〃	
水環境・土木工学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃		〃	
機械システム工学科	4	100	—	100	〃	1.09	〃		〃	
建築学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃		〃	
農学部										
食料生産科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	〃	平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—	—	—	〃	—	〃		〃	〃
応用生命科学科 (各学科共通)	4	—	3年次 ₁₀	—	〃	—	〃		〃	〃
農学生命科学科	4	170	—	340	〃	1.06	平成27年度		〃	
繊維学部										
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	〃	平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃		〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃		〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65	—	65	学士(工学)	1.09	平成28年度		〃	
機械・ロボット学科	4	60	—	60	〃	1.03	〃		〃	
化学・材料学科	4	105	—	105	〃	1.01	〃		〃	
応用生物科学科	4	50	—	50	学士(農学)	1.00	〃		〃	

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	〃	1.40	〃	〃	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		28	修士(教育学)	1.41	平成3年度	長野県長野市大学西長野6の口	平成28年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	
高度教職実践専攻	2	20		20	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	〃	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.91	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.90	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
数理・自然情報科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
物質基礎科学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
地球生物圏科学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃
電気電子工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
土木工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
建築学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
情報工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
環境機能工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
繊維・感性工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	〃
機械・ロボット学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
化学・材料専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	〃	〃	〃
農学研究科									
食料生産科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成13年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
森林科学専攻	2	—		—	〃	—	平成4年度	〃	〃
応用生命科学専攻	2	—		—	〃	—	平成13年度	〃	〃
機能性食料開発学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		75	修士(理学)	0.73	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		240	修士(工学)	1.00	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		160	修士(工学) 修士(農学)	1.18	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		65	修士(農学)	0.89	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		35	修士(医工学)	1.08	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科									
医科学専攻（修士課程）	2	12		24	修士(医科学)	1.08	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14		28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.14	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40		160	博士(医学)	1.04	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8		32	〃	1.02	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工学医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4		12	博士(保健学)	1.33	平成21年度	〃	
総合工学系研究科									
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15		45		0.75	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12		36	博士(学術)	1.02	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号	
物質創成科学専攻	3	7		21	博士(理学)	0.71	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
山岳地域環境科学専攻	3	8		24	博士(工学)	0.74	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
生物・食料科学専攻	3	7		21	博士(農学)	1.09	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
法曹法務研究科									
法曹法務専攻	3	—		—	法務博士(専門職)	—	平成17年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合理工学研究科 工学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - ・ なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
42	55	2	23	122	43	57	2	25	127	42	55	2	23	122
(43)	(57)	(2)	(25)	(127)						[0]	[0]	[0]	[0]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
112	5	5			112	5	10			112	5	5		
(112)	(5)	(10)								[0]	[0]	[0]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用している教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した**全専任教員**について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<総合理工学研究科 工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <ul style="list-style-type: none">a 委員会の設置状況b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）c 委員会の審議事項等 <p>② 実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施内容b 実施方法c 開催状況（教員の参加状況含む）d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <ul style="list-style-type: none">a 実施の有無及び実施時期b 教員や学生への公開状況、方法等
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成 28年 6月 1日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

〔松本キャンパス〕	〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
〔長野（工学）キャンパス〕	〒380-8553 長野県長野市若里4丁目17番1号
〔上田キャンパス〕	〒386-8567 長野県上田市常田3丁目15番1号
〔伊那キャンパス〕	〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成26年度に報告済の内容 →(26)

平成28年度に報告する内容 →(28)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総合理工学研究科 繊維学専攻(修士課程) 修士(工学) 修士(農学)	2 年	160 人	320 人	基礎となる学部等 繊維学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平均入学定員 超過率		備考
	平成28年度	平成29年度			
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
A 入学定員	160 (若干人) [若干人]	() []	() []	() []	1.18倍
志願者数	207 (2) [9]	() []	() []	() []	
受験者数	206 (2) [8]	() []	() []	() []	
合格者数	196 (2) [8]	() []	() []	() []	
B 入学者数	190 (2) [8]	() []	() []	() []	
入学定員超過率 B/A	1.18				

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[8] (-) 190	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2 年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計			[8] (-) 190	[] ()	[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	190 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合 計	190 人	0 人					0.0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合理工学研究科 繊維学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	Introduction to Modern Astrophysics	1・2前		2							兼1		
	MOT特論	1・2通		2							兼1		
	産学連携特別講義	1・2通		2		1							
	国際連携特別講義I	1・2通		1		1							
	国際連携特別講義II	1・2通		1		1							
	科学英語	1・2後		2							兼1		
	大学院と社会	1・2前		2							兼1		
	臨床医学概論	1・2後		2							兼14 兼6	教員配置見直しのため(28)	
	研究者倫理特別講義(CITI-Japan&講義)	1・2前	2								兼2 兼1	教員配置見直しのため(28)	
	科学技術政策特論	1・2後		2							兼2 兼1	教員配置見直しのため(28)	
	学外特別講義(長期)	1・2通		2							兼1		
	学外特別実習(長期)	1・2通		2							兼1		
専攻科目共	繊維技術士特論	1・2通		2		1					兼5	教員配置見直しのため(28)	
	Textile Technology	1・2通		2			1						
先進繊維工学ユニット	繊維材料学特論	1前		2		1							
	ヤーンテクノロジー特論	1前		2							兼1		
	テキスタイルデザイン特論	1後		2		1	1						
	先進繊維システム管理学特論	1前		2		1							
	インテリア工学特論	1後		2		1							
	先進繊維計測学特論	1前		2		1							
	繊維信号解析学特論	1前		2			1						
	繊維製品快適性評価特論	1前		2		1							
	繊維文化財学特論	1後		2			1						
	先進繊維工学演習Ⅰ	1前	1			5	2		+	2		教員配置見直しのため(28)	
	先進繊維工学演習Ⅱ	1後	1			5	2		+	2		教員配置見直しのため(28)	
	先進繊維工学演習Ⅲ	2前	1			5	2		+	2		教員配置見直しのため(28)	
	先進繊維工学演習Ⅳ	2後	1			5	2		+	2		教員配置見直しのため(28)	
	先進繊維工学特別実験Ⅰ	1前	2			5	2		+	2		教員配置見直しのため(28)	
	先進繊維工学特別実験Ⅱ	1後	2			5	2		+	2		教員配置見直しのため(28)	
	先進繊維工学特別実験Ⅲ	2前	2			5	2		+	2		教員配置見直しのため(28)	
	先進繊維工学特別実験Ⅳ	2後	2			5	2		+	2		教員配置見直しのため(28)	
	先進繊維・感性工学分野	製品生理学特論	1前		2			1					
		感性計測特論	1後		2		1	1		+			教員の昇進のため(28)
		感性デザイン特論	1前		2		1						
認知心理学特論		1前		2							兼1		
感性情報工学特論		1前		2		1							
知能情報学特論		1前		2			1						
感性文化論		1前		2							兼1		
感性材料学特論		1前		2			1						
感性繊維化学特論		1後		2			1						
感性製品工学特論		1後		2							兼1		
感性製品設計特論		1後		2		1							
衣服工学特論		1後		2		1				1			
感性工学演習Ⅰ		1前	1			5	5	7		+	2	1	教員の昇進のため(28)
感性工学演習Ⅱ		1後	1			5	5	7		+	2	1	教員の昇進のため(28)
感性工学演習Ⅲ	2前	1			5	5	7		+	2	1	教員の昇進のため(28)	
感性工学演習Ⅳ	2後	1			5	5	7		+	2	1	教員の昇進のため(28)	

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
分野共通	感性工学特別実験Ⅰ	1前	2			5	5	7	1	2	1		教員の昇進のため(28)	
	感性工学特別実験Ⅱ	1後	2			5	5	7	1	2	1		教員の昇進のため(28)	
	感性工学特別実験Ⅲ	2前	2			5	5	7	1	2	1		教員の昇進のため(28)	
	感性工学特別実験Ⅳ	2後	2			5	5	7	1	2	1		教員の昇進のため(28)	
	繊維感性工学特論	1前	2			10	6	1						
	マーケティング特論	1後		2		1								
	English Presentation	1後		2		1								
	インターンシップ実習	1・2通		1		1								
インターンシップ実習	1・2通		2		1									
機械・ロボット学分野	ナノ融合材料学特論	1後		2			1							
	複合材料力学特論	1後		2		1								
	破壊力学特論	1後		2		1								
	振動解析学特論	1前		2			1							
	熱工学特論	1前		2		1								
	流体工学特論	1前		2			1							
	電子工学特論	1前		2		1								
	ロボット工学特論	1前		2			1							
	宇宙工学特論	1後		2			1					兼1	教員配置見直しのため(28)	
	非線形制御特論	1後		2			1							
	機械・ロボット学演習Ⅰ	1前	1			4	6	5					教員配置見直しのため(28)	
	機械・ロボット学演習Ⅱ	1後	1			4	6	5					教員配置見直しのため(28)	
	機械・ロボット学演習Ⅲ	2前	1			4	6	5					教員配置見直しのため(28)	
	機械・ロボット学演習Ⅳ	2後	1			4	6	5					教員配置見直しのため(28)	
	機械・ロボット学特別実験Ⅰ	1前	2			4	6	5					教員配置見直しのため(28)	
	機械・ロボット学特別実験Ⅱ	1後	2			4	6	5					教員配置見直しのため(28)	
	機械・ロボット学特別実験Ⅲ	2前	2			4	6	5					教員配置見直しのため(28)	
機械・ロボット学特別実験Ⅳ	2後	2			4	6	5					教員配置見直しのため(28)		
インターンシップ実習	1・2通		1		1									
インターンシップ実習	1・2通		2		1									
ファイバー材料工学ユニット	移動現象論特論	1前		2		1								
	無機材料化学特論	1前		2		1								
	光材料化学特論	1前		2		1								
	プロセス開発工学特論	1後		2			1							
	環境資源化学特論	1後		2		1								
	半導体工学	1前		2			1							
	材料反応設計特論	1前		2		1								
	界面科学特論	1後		2			1							
	反応システム工学特論	1前		2			1							
	機能高分子学ユニット	生命機能高分子学特論Ⅰ	1前		2			1						
		生命機能高分子学特論Ⅱ	1後		2			1						
		生命機能高分子学特論Ⅲ	1前		2		1							
		ファイバー・機能材料学特論Ⅰ	1前		2			1						
		ファイバー・機能材料学特論Ⅱ	1後		2			1						
		ファイバー・機能材料学特論Ⅲ	1前		2		1							
		合成高分子学特論Ⅰ	1前		2		1							
		合成高分子学特論Ⅱ	1後		2		1							
分子集合機能学特論Ⅰ		1後 1前		2		1							時間割調整のため(28)	
分子集合機能学特論Ⅱ		1通		2		1								
化学・材料分野 応用分子化学ユニット	分子集合機能学特論Ⅲ	1後		2			1							
	分子化学特論Ⅰ	1後		2			1							
	分子化学特論Ⅱ	1前		2			1							
	反応化学特論Ⅰ	1前		2		1								
	反応化学特論Ⅱ	1後		2			1							
	反応化学特論Ⅲ	1前		2			1							
	構造化学特論Ⅰ	1後		2		1								
	構造化学特論Ⅱ	1前		2			1							
	構造化学特論Ⅲ	1後		2			1							
	機能化学特論Ⅰ	1前 1後		2		1							時間割調整のため(28)	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
分野 共通	機能化学特論Ⅱ	1前		2			1					
	機能化学特論Ⅲ	1後		2		1	1					教員の昇進のため(28)
	機能化学特論Ⅳ	1前		2			1					
	化学・材料演習Ⅰ	1前	1			14 15	18 17			4		教員の昇進のため(28)
	化学・材料演習Ⅱ	1後	1			14 15	18 17			4		教員の昇進のため(28)
	化学・材料演習Ⅲ	2前	1			14 15	18 17			4		教員の昇進のため(28)
	化学・材料演習Ⅳ	2後	1			14 15	18 17			4		教員の昇進のため(28)
	化学・材料特別実験Ⅰ	1前	2			14 15	18 17			4		教員の昇進のため(28)
	化学・材料特別実験Ⅱ	1後	2			14 15	18 17			4		教員の昇進のため(28)
	化学・材料特別実験Ⅲ	2前	2			14 15	18 17			4		教員の昇進のため(28)
	化学・材料特別実験Ⅳ	2後	2			14 15	18 17			4		教員の昇進のため(28)
	化学・材料特別講義	1前		2		14 15	18 17					教員の昇進のため(28)
	インターンシップ実習	1・2通		1		1						
	インターンシップ実習	1・2通		2		1						
応用 生物 科学 分野	応用生態学特論Ⅰ	1前		1		1						
	応用生態学特論Ⅱ	1前		1		1						
	保全環境学特論	1前		2		1						
	農産製造学特論	1前		2			1					
	資源微生物学特論	1前		2			1					
	応用微生物学特論	1後		2					1			
	応用昆虫学特論	1前		2			1					
	発生生物学特論	1前		2			1					
	蛋白質工学特論	1前		1					1			
	応用生物学英語	1前		1					1			
	家畜生産学特論	1後		2		1						
	蚕利用学特論Ⅰ	1前		1		1						
	蚕利用学特論Ⅱ	1前		1		1						
	先進栽培学特論	1後		2		1						
	植物工学特論	1前		2			1					
	細胞生物学特論	1前		2					1			
	シルク加工利用学特論	1後		2		1						
	分子育種学特論Ⅰ	1前		1			1					
	分子育種学特論Ⅱ	1前		1			1					
	生体材料学特論	1後		2		1						
	育種工学特論	1前		2		1						
	ゲノム機能工学特論	1前		2			1					
	発酵食品学特論	1前		2		1						
	遺伝子機能科学特論	1後		2		1						
	バイオマス繊維生産利用学特論	1前		2		1						
	応用生物学特論	1通		1								兼1
	応用生物学演習Ⅰ	1前	1				11	7		4		
	応用生物学演習Ⅱ	1後	1				11	7		4		
	応用生物学演習Ⅲ	2前	1				11	7		4		
	応用生物学演習Ⅳ	2後	1				11	7		4		
	応用生物学特別研究Ⅰ	1前	2				11	7		4		
応用生物学特別研究Ⅱ	1後	2				11	7		4			
応用生物学特別研究Ⅲ	2前	2				11	7		4			
応用生物学特別研究Ⅳ	2後	2				11	7		4			
インターンシップ実習	1・2通		1		1							
インターンシップ実習	1・2通		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年度	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
エネルギー材料科学特論I	エネルギー材料科学特論I	1・2後		2							兼1		
	エネルギー材料科学特論II	1・2前		2		2	1				兼2	教員配置見直しのため(28)	
	エネルギーデバイス総論	1・2前		2		1	1				兼4		
	エネルギーシステム特論I	1・2後		2							兼6		
	エネルギーシステム特論II	1・2前		2							兼2		
	水環境科学特論	水環境科学特論	1・2前通		2		2					兼4 兼3	時間割調整, 教員配置見直しのため(28)
		水創成特論	1・2後		2							兼7	
		水利用システム特論	1・2後		2							兼8	
	食料機能学総論	食料機能学総論	1・2通		2							兼7 兼8	教員配置見直しのため(28)
		食資源利用学総論	1・2通		2							兼7 兼8	教員配置見直しのため(28)
フードビジネス総論		1・2通		2							兼6 兼7	教員配置見直しのため(28)	
食料生命科学総論		1・2通		2							兼7 兼8	教員配置見直しのため(28)	
食農生産システム工学特論		1・2通		2							兼9		
繊維系合同研修	繊維系合同研修	1通		2							兼3		
	繊維系資格概論	1・2通		2		1					兼2		
	アカデミックインターンシップ(国内)	1・2通		2		1					兼3		
	アカデミックインターンシップ(海外)	1・2通		2		1					兼2		
	海外繊維・ファイバー工学事情I	1・2通		2							兼3		
	海外繊維・ファイバー工学事情II	1・2通		2		1					兼2		
	繊維基礎科学	1・2通		2			1				兼2		
英語技法特論I	英語技法特論I	1前	2				1						
	英語技法特論II	1後	2				1						
	MOT	1・2通	2			1					兼1	教員配置見直しのため(28)	
	ファイバー基礎実習	1前	1			1	3	1				教員配置見直しのため(28)	
	Textile Fundamentals I	1後	2			1							
	研究室ローテーションI	1通	1			1							
	ものづくり・ことづくり演習I(チームワーキング)	1前	1			1							
	International Topics on Fiber Engineering I	1通	3			1							
	英語技法特論III	2前	2					1					
	英語技法特論IV	2後	2					1					
	ファイバーイノベーション概論	2前	2			1							
	Textile Fundamentals II	2後	2			1							
	研究室ローテーションII	2通	1			1							
	ものづくり・ことづくり演習II(チームワーキング)	2前	1			1							
	International Topics on Fiber Engineering II	2通	3			1							
テキスタイル基礎実習	1後 1前	1			1				1		時間割調整のため(28)		
繊維・ファイバー工学特別実験	2前	1			1	2					教員配置見直しのため(28)		
サブライチェーン	サブライチェーン	1通		2		1							
	プロダクトデザイン	1後 1前		2		1						時間割調整のため(28)	
	マーケティング	1後		2		1							
	知的財産	1通		2		1					兼1	教員配置見直しのため(28)	
	工業経済学	1通		2							兼1		
	科学哲学	1後		2							兼1		
	日本文化論	1前		2							兼1		
	比較文化論	1前		2							兼1		
	技術者倫理	1後		2							兼1		
	ナノファイバー工学特論	ナノファイバー工学特論	1後		2			1					
ヤーンテクノロジー		1後 1前		2							兼1	時間割調整のため(28)	
高性能繊維設計特論		1前		2			1						
高性能繊維設計特論		1前		2		1							
ナノマテリアル工学特論		1後		2		1							
機能高分子工学特論	1前		2		1								

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
バイオ・メデイカル分野	シルク利用工学	1後		2		1						
	バイオファイバー科学	1前		2		1	1					
	医用材料特論	1後		2							兼1	
	繊維生物資源学	1前		2		1						
	生体分子機能科学	1前 1後		2		1						時間割調整のため(28)
	バイオマス利用工学	1前		2		1						
スマートテキスタイル分野	バイオミメティック科学	1通 1後		2		1					兼1	時間割調整、教員配置見直しのため(28)
	複合材料設計学特論	1後		2		1						
	e-Textile設計特論	1後		2		1						
	プロテクティブテキスタイル特論	1後		2		2	1					
	テキスタイルデザイン特論	1後		2		1						
	先進繊維計測学特論	1前		2		1						
感性・ファッション工学分野	繊維集合体特論	1後		2					1			
	ファッションデザイン論	1前 1後		2							兼1	時間割調整のため(28)
	衣服設計論	1後		2		1			1			
	感性情報工学特論	1前		2		1						
	感性製品計測・評価法特論	1後		2		1						
	製品生理学特論	1前		2			1					
	繊維製品生産論	1後		2							兼1	

- (注)・設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
 - ・「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
59	167	0	226	59	167	0	226	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2			該当なし			
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目 該当なし

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2			該当なし			
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 5px;">該当なし</div>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校舎	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	(m ²)	(m ²)	(m ²)	(m ²)				
(3) 教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設			
	室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数				
				室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図書館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	m ²							
(7) 体育館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	m ²							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
		共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
	学生納付金以外の維持方法の概要							

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
 なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考	
	既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度		所在地
人文学部	年	人	年次人	人			倍			
人間情報学科	4	—	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次5	630	—	〃	1.05	平成25年度	〃	〃
教育学部										
学校教育教員養成課程	4	240	—	900	—	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大字西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部										
経済学科	4	—	3年次20	—	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次10	—	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部										
応用経済学科	4	100	—	100	—	学士(経済学)	1.07	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	—	80	—	学士(法学)	1.17	〃	〃	
理学部										
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科	4	—	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
(各学科共通)			3年次10	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	—	108	—	〃	1.04	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	—	302	—	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部										
医学科	6	120	—	703	—	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次17	606	—	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	
看護学専攻	4	70	3年次10	300	—	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	
検査技術学専攻	4	37	3年次3	154	—	学士(保健学)	1.00	平成15年度	〃	

理学療法学専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.10	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃	
作業療法学専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度	〃	〃	
工学部										
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度	〃	〃	〃
社会開発工学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃	平成20年度より学生募集停止
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度	〃	〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度	〃	〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度	〃	〃	〃
物質化学科	4	95	—	95	学士(工学)	1.02	平成28年度	〃	〃	〃
電気情報システム工学科	4	170	—	170	〃	1.04	〃	〃	〃	〃
水環境・土木工学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃	〃	〃	〃
機械システム工学科	4	100	—	100	〃	1.09	〃	〃	〃	〃
建築学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃	〃	〃	〃
農学部										
食料生産科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	〃	平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃	〃
応用生命科学科 (各学科共通)	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃	〃
農学生命科学科	4	170	3年次 ₁₀	340	〃	1.06	平成27年度	〃	〃	〃
繊維学部										
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	〃	平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃	〃	〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65	—	65	学士(工学)	1.09	平成28年度	〃	〃	〃
機械・ロボット学科	4	60	—	60	〃	1.03	〃	〃	〃	〃
化学・材料学科	4	105	—	105	〃	1.01	〃	〃	〃	〃
応用生物科学科	4	50	—	50	学士(農学)	1.00	〃	〃	〃	〃

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	"	1.40	"	"	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		28	修士(教育学)	1.41	平成3年度	長野県長野市大字西長野6の口	平成28年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	—		—	"	—	"	"	
高度教職実践専攻	2	20		20	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	"	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.91	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.90	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
数理・自然情報科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
物質基礎科学専攻	2	—		—	"	—	"	"	
地球生物圏科学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	"
電気電子工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
土木工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
建築学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
物質工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
情報工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
環境機能工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
繊維・感性工学専攻	2	—		—	"	—	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	"
機械・ロボット学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
化学・材料専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	"	"	"
農学研究科									
食料生産科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成13年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
森林科学専攻	2	—		—	"	—	平成4年度	"	
応用生命科学専攻	2	—		—	"	—	平成13年度	"	
機能的食料開発学専攻	2	—		—	"	—	"	"	
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		75	修士(理学)	0.73	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		240	修士(工学)	1.00	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		160	修士(工学) 修士(農学)	1.18	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		65	修士(農学)	0.89	"	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		35	修士(医工学)	1.08	"	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科									
医学専攻（修士課程）	2	12		24	修士（医科学）	1.08	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14		28	修士（看護学） 修士（保健学）	1.14	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40		160	博士（医学）	1.04	平成24年度	〃	
疾患予防医学系専攻（博士課程）	4	8		32	〃	1.02	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工学医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4		12	博士（保健学）	1.33	平成21年度	〃	
総合工学系研究科									
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15		45		0.75	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12		36		1.02	〃		
物質創成科学専攻	3	7		21	博士（学術） 博士（理学） 博士（工学） 博士（農学）	0.71	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	
山岳地域環境科学専攻	3	8		24		0.74	〃		
生物・食料科学専攻	3	7		21		1.09	〃		
法曹法務研究科									
法曹法務専攻	3	—		—	法務博士（専門職）	—	平成17年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止

(注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部、学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について、それぞれの学校種ごとに、平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・ 学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。

・ 専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。

・ AC対象学部等についても必ず記入してください。

・ 「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。

・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合理工学研究科 繊維学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2)-① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
39	38	1	11	89	40	38	0	11	89	39	38	0	10	87
(40)	(38)	(0)	(11)	(89)						[0]	[0]	[△1]	[△1]	[△2]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
89	0	0			88	1	0			87	0	0		
(88)	(1)	(0)								[△2]	[0]	[0]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2)-② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

・ ~~「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。~~

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<総合理工学研究科 繊維学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等</p>

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

b 公表方法

③ 認証評価を受ける計画

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無 (有) ・ (無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期） (平成 28年 6月 1日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

〔松本キャンパス〕	〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
〔長野（工学）キャンパス〕	〒380-8553 長野県長野市若里4丁目17番1号
〔上田キャンパス〕	〒386-8567 長野県上田市常田3丁目15番1号
〔伊那キャンパス〕	〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
学部長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
 (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
 平成28年度に報告する内容 → (28)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総理工学研究科 農学専攻(修士課程) 修士(農学)	2 年	65 人	130 人	基礎となる学部等 農学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	65 (若干人) [若干人]		人 人 () () [] []		人 人 () () [] []		0.89倍	
志願者数	60 (3) [3]	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	59 (3) [3]	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	58 (3) [3]	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	58 (3) [3]	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	0.89							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。
 なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[3] (-) 58	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計			[3] (-) 58	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	58 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合 計	58 人	0 人					0.0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合理工学研究科 農学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
研究科共通科目	Introduction to Modern Astrophysics	1-2前		2								兼1
	MOT特論	1-2通		2								兼1
	産学連携特別講義	1-2通		2								兼1
	国際連携特別講義I	1-2通		1								兼1
	国際連携特別講義II	1-2通		1								兼1
	科学英語	1-2後		2								兼1
	大学院と社会	1-2前		2								兼1
	臨床医学概論	1-2後		2								兼14 兼5 兼2 兼1
	研究者倫理特別講義 (CITI-Japan&講義)	1-2前	2									兼2 兼1
	科学技術政策特論	1-2後		2								兼2 兼1
	学外特別講義 (長期)	1-2通		2								兼1
学外特別実習 (長期)	1-2通		2								兼1	
専攻共通科目	食と緑の科学特論	1通	2			4	15		5			
	国際農学特論I	1-2通		2								
	国際農学特論II	1-2通		2								
	国際農学特論III	1-2通		2								
	国際農学特論IV	1-2通		2								
	国際農学特別演習I	1-2通		2								
	国際農学特別演習II	1-2通		2								
	国際農学特別実習I	1-2通		2								
	国際農学特別実習II	1-2通		2								
												学術交流協定に基づく留学において適用し、合わせて10単位を超えない範囲で修了に必要な単位に算入することができる。
先端生命科学分野	生命機能工学	基礎生命機能科学特論	1前	2		1						
		生命機能科学特論	1後	2		1			2			
		生命機能工学特別演習I	1通	2		1	2			2		兼1
		生命機能工学特別演習II	2通	2		1	2			2		兼1
		生命機能工学特別実験実習	1通	2		1	2			2		兼1
	細胞システム科	細胞システム科学特論	1前	2		1	1					兼1
		動物細胞工学特論	1後	2		1	1					兼1
		細胞システム科学特別演習I	1通	2		1	2					
		細胞システム科学特別演習II	2通	2		1	2					
		細胞システム科学特別実験実習	1通	2		1	2					兼1
	生物共生科学	菌類共生科学特論	1前	2		1	1					
		農環境特論	1後	2		1	2					
		生物共生科学特別演習I	1通	2		2	3					
		生物共生科学特別演習II	2通	2		2	3					
		生物共生科学特別実験実習	1通	2		2	3					
	分野共通	先端生命科学特論	1前	2		4	5		2			兼1
		先端生命科学特別演習	1後	2		4	5		2			兼1
		特別インターンシップ (短期)	1-2通	2		4	1					
		特別研究	2通	10		4	5		2			兼1
		Advanced Study for Life Science	1-2通	2		4	5		2			兼1
食品生物機能科	応用微生物学特論	1前	2		1	1						
	分子生物・遺伝子工学特論	1後	2		1	1						
	食品生物機能科学特別演習I	1通	2		2	2						
	食品生物機能科学特別演習II	2通	2		2	2						
	食品生物機能科学特別実験実習	1通	2		2	2						

食品生命科学分野	ユニット 食料機能解析学	食料分析化学特論	1前		2	2	2							
		食料機能解析学特論	1後		2	2	2							
		食料機能解析学特別演習Ⅰ	1通		2	2	2							
		食料機能解析学特別演習Ⅱ	2通		2	2	2							
		食料機能解析学特別実験実習	1通		2	2	2							
	ユニット 食品分子機能学	食品分子機能学特論	1前		2	1	2		1					
		食品機能開発学特論	1後		2	1	2		1					
		食品分子機能学特別演習Ⅰ	1通		2	1	2		1					
		食品分子機能学特別演習Ⅱ	2通		2	1	2		1					
		食品分子機能学特別実験実習	1通		2	1	2		1					
	機能性食品創製学 ユニット	機能性食品創製学特論Ⅰ	1・2通		2								2 兼3	教員配置見直しのため (28)
		機能性食品創製学特論Ⅱ	1・2通		2								2 兼3	
	分野共通	食料資源利用学特論	1後		2		5	6		1				
		食品生命科学特別演習	1後		2		5	6		1				
		特別インターンシップ (短期)	1・2通		2			1						
		特別研究	2通		10		5	6		1				
Advanced study for food science		1・2通		2		5	6		1					
生物資源科学分野	ユニット 動物資源生産学	動物資源生産学特論Ⅰ	1前		2	2			1					
		動物資源生産学特論Ⅱ	1後		2	1	1		1					
		動物資源生産学特別演習Ⅰ	1通		2	3	1		2					
		動物資源生産学特別演習Ⅱ	2通		2	3	1		2					
		動物資源生産学特別実験実習	1通		2	3	1		2					
	ユニット 植物資源生産学	植物資源生産学特論Ⅰ	1前		2	2	1		2					
		植物資源生産学特論Ⅱ	1後		2	2	1		2					
		植物資源生産学特別演習Ⅰ	1通		2	2	1		2					
		植物資源生産学特別演習Ⅱ	2通		2	2	1		2					
		植物資源生産学特別実験実習	1通		2	2	1		2					
	ム学 ユニット 生産環境システム学	生産環境システム学特論Ⅰ	1前		2	2	1	1	1					
		生産環境システム学特論Ⅱ	1後		2	2	1	1	1					
		生産環境システム学特別演習Ⅰ	1通		2	2	1		1					
		生産環境システム学特別演習Ⅱ	2通		2	2	1		1					
		生産環境システム学特別実験実習	1通		2	2	1		1					
	分野共通	生物・食資源生産学特論	1前		2	7	3		5					
生物資源科学特別演習		1後		2	7	3		1						
特別インターンシップ (短期)		1・2通		2		1								
特別研究		2通		10	7	3		1						
Advanced Study for Biological Resources		1・2通		2	7	3		1						
環境共生学分野	ユニット 森林資源利用学	森林資源利用学特論	1前		2	2			2					
		木材理学特論	1前		2	1	2							
		森林資源利用学特別演習Ⅰ	1通		2	3	2		2					
		森林資源利用学特別演習Ⅱ	2通		2	3	2		2					
		森林資源利用学特別実験実習	1通		2	3	2		2					
	ユニット 地域環境共生学	地域環境計画学特論	1前		2	1	1		2					
		緑地環境評価学特論	1後		2	2	1							
		地域環境共生学特別演習Ⅰ	1通		2	3	2		2					
		地域環境共生学特別演習Ⅱ	2通		2	3	2		2					
	ユニット 山岳環境保全学	山岳環境保全学特別実験実習	1通		2	3	2		2					
		山地保全学特論	1前		2	1			2					
		森林生態学特論	1後		2	1	2		1					
		山岳環境保全学特別演習Ⅰ	1通		2	2	2		3					
		山岳環境保全学特別演習Ⅱ	2通		2	2	2		3					
	分野共通	山岳環境保全学特別実験実習	1通		2	2	2		3					
		環境共生学特論	1前		2	2	1		2					
環境共生学特別演習		1後		2	8	6		1						
特別インターンシップ (短期)		1・2通		2		1								
特別研究		2通		10	8	6		1						
Advanced Study for Environmental Science	1・2通		2	8	6		1							
地域共生 プログラム	地域連携・経営学特論Ⅰ	1前		2		1								
	地域連携・経営学特論Ⅱ	1後		2		1								
	動植物環境共生学特論	1前		2	7	3		5						
	食品バイオサイエンス特論	1後		2	5	6		1						
	中山間地域管理学	1前		2	2	1		2						
	生命産業科学特論	1前		2	4 5		5		2			兼1	教員配置見直しのため (28)	
	地域課題探究演習Ⅰ	1通		2	25	20		12 14				教員の昇進, 教員配置見直しのため (28)		

		地域課題探究演習Ⅱ	1通		2		25	21	20		12							教員の昇進、教員配置見直しのため(28)		
		特別研究	1通		10		25	21	20		12							教員の昇進、教員配置見直しのため(28)		
グローバル人材養成プログラム	サステイナブルコース	エネルギー材料科学特論Ⅰ	1・2後		2													兼1		
		エネルギー材料科学特論Ⅱ	1・2前		2													兼2 兼5	教員配置見直しのため(28)	
		エネルギーデバイス総論	1・2前		2														兼6	
		エネルギーシステム特論Ⅰ	1・2後		2														兼6	
		エネルギーシステム特論Ⅱ	1・2前		2														兼2	
	ルウオイナフコース	水環境科学特論	1・2前 通		2														兼6 兼5	時間割調整、教員配置見直しのため(28)
		水創成特論	1・2後		2														兼7	
		水利用システム特論	1・2後		2														兼8	
	サステイナブルコース	食料機能学総論	1・2通		2			1 3	1 2		1								兼4 兼2	教員配置見直しのため(28)
		食資源利用学総論	1・2通		2			1 2	2 3		1								兼3	教員配置見直しのため(28)
		フードビジネス総論	1・2通		2			1 2	3										兼2	教員配置見直しのため(28)
		食料生命科学総論	1・2通		2			1 4	4 5		1								兼2 兼1	教員配置見直しのため(28)
食農生産システム工学特論		1・2通		2														兼9		

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目 2	科目 123	科目 0	科目 125	科目 2	科目 123	科目 0	科目 125	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、 [] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2			該当なし			
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2			該当なし			
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">該当なし</div>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

- (注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.05	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	900	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大字西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	—	100	学士(経済学)	1.07	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	—	80	学士(法学)	1.17	〃	〃	〃
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科 (各学科共通)	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 10	108	〃	1.04	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	—	302	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	703	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	〃
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	〃
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.00	平成15年度	〃	〃

理学療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.10	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃
作業療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度	〃	〃
工学部									
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
社会開発工学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成20年度より学生募集停止
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度	〃	平成28年度より学生募集停止
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度	〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度	〃	〃
物質化学科	4	95	—	95	学士(工学)	1.02	平成28年度	〃	〃
電気情報システム工学科	4	170	—	170	〃	1.04	〃	〃	〃
水環境・土木工学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃	〃	〃
機械システム工学科	4	100	—	100	〃	1.09	〃	〃	〃
建築学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃	〃	〃
農学部									
食料生産科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
応用生命科学科 (各学科共通)	4	—	3年次 ₁₀	—	〃	—	〃	〃	〃
農学生命科学科	4	170	—	340	〃	1.06	平成27年度	〃	〃
繊維学部									
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃	〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃	〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃	〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65	—	65	学士(工学)	1.09	平成28年度	〃	〃
機械・ロボット学科	4	60	—	60	〃	1.03	〃	〃	〃
化学・材料学科	4	105	—	105	〃	1.01	〃	〃	〃
応用生物科学科	4	50	—	50	学士(農学)	1.00	〃	〃	〃

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	〃	1.40	〃	〃	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		28	修士(教育学)	1.41	平成3年度	長野県長野市大学西長野6の口	平成28年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	
高度教職実践専攻	2	20		20	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	〃	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.91	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.90	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
数理・自然情報科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
物質基礎科学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
地球生物圏科学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃
電気電子工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
土木工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
建築学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
物質工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
情報工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
環境機能工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
繊維・感性工学専攻	2	—		—	〃	—	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	〃
機械・ロボット学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
化学・材料専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	〃	〃	〃
農学研究科									
食料生産科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成13年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
森林科学専攻	2	—		—	〃	—	平成4年度	〃	〃
応用生命科学専攻	2	—		—	〃	—	平成13年度	〃	〃
機能性食料開発学専攻	2	—		—	〃	—	〃	〃	〃
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		75	修士(理学)	0.73	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		240	修士(工学)	1.00	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		160	修士(工学) 修士(農学)	1.18	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		65	修士(農学)	0.89	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		35	修士(医工学)	1.08	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科									
医科学専攻（修士課程）	2	12		24	修士(医科学)	1.08	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14		28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.14	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40		160	博士(医学)	1.04	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8		32	〃	1.02	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工学医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4		12	博士(保健学)	1.33	平成21年度	〃	
総合工学系研究科									
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15		45		0.75	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12		36	博士(学術)	1.02	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号	
物質創成科学専攻	3	7		21	博士(理学)	0.71	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
山岳地域環境科学専攻	3	8		24	博士(工学)	0.74	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
生物・食料科学専攻	3	7		21	博士(農学)	1.09	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
法曹法務研究科									
法曹法務専攻	3	—		—	法務博士(専門職)	—	平成17年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合理工学研究科 農学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 - ・ なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 - ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
25	20	1	15	61	23	20	1	18	62	23	20	1	18	62
(23)	(19)	(1)	(19)	(62)						[Δ2]	[0]	[0]	[3]	[1]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
50	0	11			50	0	12			50	0	12		
(50)	(0)	(12)								[0]	[0]	[1]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 [3]

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した**全専任教員**について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<総合理工学研究科 農学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成 28年 6月 1日)

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

国立大学法人 信州大学

(2) 大学名

信州大学

(3) 大学の位置

〔松本キャンパス〕	〒390-8621 長野県松本市旭3丁目1番1号
〔長野（工学）キャンパス〕	〒380-8553 長野県長野市若里4丁目17番1号
〔上田キャンパス〕	〒386-8567 長野県上田市常田3丁目15番1号
〔伊那キャンパス〕	〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長			
理事			
研究科長			
学科長等			

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。
 (例) 平成26年度に報告済の内容 → (26)
 平成28年度に報告する内容 → (28)
 ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
 ・「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 (入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は, 平成26年度開設の博士後期課程の場合(平成28年度までの3年間)ですが, 開設年度・
 修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合
 には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称, 定員

調査対象研究科等の 名称(学位)	設置時の計画			備 考
	修業年限	入学定員	収容定員	
総理工学研究科 生命医工学専攻 修士(医工学)	2 年	35 人	70 人	基礎となる学部等 理学部, 医学部, 工学部, 農学部, 繊維学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区 分	報告年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	35 () [-]	()	()	()	()	()	1.08倍	
志願者数	40 () [-]	() []	() []	() []	() []	() []		
受験者数	39 () [-]	() []	() []	() []	() []	() []		
合格者数	39 () [-]	() []	() []	() []	() []	() []		
B 入学者数	38 () [-]	() []	() []	() []	() []	() []		
入学定員超過率 B/A	1.08							

- (注) ・ 数字は, 平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ () 内には, 社会人の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については, 設置計画書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ [] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[-] (-) 38	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
2年次	/		[] ()	[] ()	[] ()	[] ()	
計			[-] (-) 38	[] ()	[] ()	[] ()	[] ()

- (注) ・ 数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成28年度 入学者	38 人	0 人	平成28年度	0 人	0 人		0.0 %
			平成29年度	人	人		
平成29年度 入学者	人	人	平成29年度	人	人		%
合 計	38 人	0 人					0.0 %

(注)・数字は、平成28年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成28年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<総合理工学研究科 生命医工学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
研究科共通科目	Introduction to Modern Astrophysics	1・2前		2								兼1	
	MOT特論	1・2通		2								兼1	
	産学連携特別講義	1・2通		2								兼1	
	国際連携特別講義I	1・2通		1								兼1	
	国際連携特別講義II	1・2通		1								兼1	
	科学英語	1・2後		2								兼1	
	大学院と社会	1・2前		2								兼1	
	臨床医学概論	1・2後		2		1						兼13 兼4 教員配置見直しのため(28)	
	研究者倫理特別講義(CITI-Japan&講義)	1・2前	2									兼2 兼1 教員配置見直しのため(28)	
	科学技術政策特論	1・2後		2								兼2 兼1 教員配置見直しのため(28)	
	学外特別講義(長期)	1・2通		2								兼1	
	学外特別実習(長期)	1・2通		2								兼1	
専攻科目共通	科目基礎 医療倫理学・社会医工学	1・2前	2			1						兼3	
	科目応用 病院インターンシップ研修	1・2通		1		1							
	行政・企業インターンシップ研修	1・2通		4~6		1							
生命工学分野	科目基礎 力学基礎I	1前		2		1	1						
	力学基礎II	1前		2		1	1						
	専門科目	生命工学特論	1前	2			3	3		3	4		教員配置見直しのため(28)
		先進応用生命科学特論	1・2前		2		1	2		1	1		教員の昇進のため(28)
		生命情報科学特論	1・2前		2		1				2		
		先進生命化学特論	1・2前		2		1				1		
		分子生物科学特論	1・2前		2			1					
		生命工学演習I	1前	1			3	3		2	4		教員配置見直しのため(28)
		生命工学演習II	1後	1			3	3		2	4		教員配置見直しのため(28)
		生命工学演習III	2前	1			3	3		2	4		教員配置見直しのため(28)
		生命工学演習IV	2後	1			3	3		2	4		教員配置見直しのため(28)
		生命工学特別実験I	1前	2			3	3		2	4		教員配置見直しのため(28)
		生命工学特別実験II	1後	2			3	3		2	4		教員配置見直しのため(28)
		生命工学特別実験III	2前	2			3	3		2	4		教員配置見直しのため(28)
生命工学特別実験IV	2後	2			3	3		2	4		教員配置見直しのため(28)		
生体医工学分野	科目基礎 生物学基礎I	1前		2			1		1			教員の昇進のため(28)	
	生物学基礎II	1後		2			1		1			教員の昇進のため(28)	
	専門科目	生体医工学特論	1前	2			6	4		3	2		教員の昇進, 教員配置見直しのため(28)
		生体ロボット学特論	1・2前		2		1						
		医療ロボット学特論	1・2後		2		1						
		生体流体力学特論	1・2後		2		1						
		生体マイクロデバイス特論	1・2前		2			1					
		生体情報システム学特論	1・2後		2			1					
		基礎連続体統計学特論	1・2後		2			1					
		動物行動学特論	1・2前		2						1		
		生体材料学特論	1・2後		2						1		
		バイオメカニクス特論	1・2前		2		1						
		生体応答学特論	1・2後		2		1	1		1			教員の昇進のため(28)
		生体計測学特論	1・2後		2		1						
		生体医工学演習I	1前	1			6	4		1	2		教員の昇進のため(28)
生体医工学演習II	1後	1			6	4		1	2		教員の昇進のため(28)		
生体医工学演習III	2前	1			6	4		1	2		教員の昇進のため(28)		

		生体医工学演習Ⅳ	2後	1		6	4 3	1	2		教員の昇進のため(28)	
		生体医工学特別実験Ⅰ	1前	2		6	4 3	1	2		教員の昇進のため(28)	
		生体医工学特別実験Ⅱ	1後	2		6	4 3	1	2		教員の昇進のため(28)	
		生体医工学特別実験Ⅲ	2前	2		6	4 3	1	2		教員の昇進のため(28)	
		生体医工学特別実験Ⅳ	2後	2		6	4 3	1	2		教員の昇進のため(28)	
サステイナブル 材養成プログラム	サステイナブル エネルギー コース	エネルギー材料科学特論Ⅰ	1・2後		2					兼1		
		エネルギー材料科学特論Ⅱ	1・2前		2					兼2 兼5	教員配置見直しのため(28)	
		エネルギーデバイス総論	1・2前		2					兼6		
		エネルギーシステム特論Ⅰ	1・2後		2	1				兼5		
		エネルギーシステム特論Ⅱ	1・2前		2					兼2		
	サステイナブル エネルギー コース	水環境科学特論	1・2前 通		2						兼6 兼5	時間割調整, 教員配置見直しのため(28)
		水創成特論	1・2後		2					兼7		
		水利用システム特論	1・2後		2					兼8		
	サステイナブル フード コース	食料機能学総論	1・2通		2	1	2 1				兼4 兼6	教員配置見直しのため(28)
		食資源利用学総論	1・2通		2	2	1				兼4 兼5	教員配置見直しのため(28)
フードビジネス総論		1・2通		2	1	1				兼4 兼5	教員配置見直しのため(28)	
食料生命科学総論		1・2通		2	1	1				兼5 兼6	教員配置見直しのため(28)	
食農生産システム工学特論		1・2通		2						兼9		
繊維・ファイバー 工学コース	基幹科目	繊維系合同研修	1通		2					兼3		
		繊維系資格概論	1・2通		2					兼3		
		アカデミックインターンシップ(国内)	1・2通		2					兼4		
		アカデミックインターンシップ(海外)	1・2通		2					兼3		
		海外繊維・ファイバー工学事情Ⅰ	1・2通		2					兼3		
		海外繊維・ファイバー工学事情Ⅱ	1・2通		2					兼3		
		繊維基礎科学	1・2通		2					兼3		
地域共生 プログラム	グ ラ ム ジ メ ン ト プ ロ	地域連携・経営学特論Ⅰ	1前		2					兼1		
		地域連携・経営学特論Ⅱ	1後		2					兼1		
		動植物環境共生学特論	1前		2					兼15		
		食品バイオサイエンス特論	1後		2					兼12		
		中山間地域管理学	1前		2					兼5		
		生命産業科学特論	1前		2					兼12 兼13	教員配置見直しのため(28)	
		地域課題探究演習Ⅰ	1通		2					兼58 兼59	教員配置見直しのため(28)	
		地域課題探究演習Ⅱ	1通		2					兼58 兼59	教員配置見直しのため(28)	
		特別研究	1通		10					兼58 兼59	教員配置見直しのため(28)	
ファイバー グローバル リーダーの養成 プログラム	必修科目	英語技法特論Ⅰ	1前	2						兼1		
		英語技法特論Ⅱ	1後	2						兼1		
		MOT	1・2通	2						兼1		
		ファイバー基礎実習	1前	1						兼4 兼1	教員配置見直しのため(28)	
		Textile FundamentalsⅠ	1後	2						兼1		
		研究室ローテーションⅠ	1通	1						兼1		
		ものづくり・ことづくり演習Ⅰ(チームワーキング)	1前	1						兼1		
		International Topics on Fiber EngineeringⅠ	1通	3						兼1		
		英語技法特論Ⅲ	2前	2						兼1		
		英語技法特論Ⅳ	2後	2						兼1		
		ファイバーイノベーション概論	2前	2						兼1		
		Textile FundamentalsⅡ	2後	2						兼1		
		研究室ローテーションⅡ	2通	1						兼1		
		ものづくり・ことづくり演習Ⅱ(チームワーキング)	2前	1						兼1		
	International Topics on Fiber EngineeringⅡ	2通	3						兼1			
	共通科目	テキスタイル基礎実習	1前 後	1							兼2	時間割調整のため(28)
		繊維・ファイバー工学特別実験	2前	1							兼2 兼1	教員配置見直しのため(28)
サプライチェーン		1通		2						兼1		
		プロダクトデザイン	1前 後		2					兼1	時間割調整のため(28)	
		マーケティング	1後		2					兼1		
		知的財産	1通		2					兼1		
		工業経済学	1通		2					兼1		
		科学哲学	1後		2					兼1		

	日本文化論	1前	2						兼1
	比較文化論	1前	2						兼1
	技術者倫理	1後	2						兼1
フロンティア分野	ナノファイバー工学特論	1後	2						兼1
	ヤーンテクノロジー	1前後	2						兼1 時間割調整のため(28)
	高機能繊維設計特論	1前	2						兼1
	高性能繊維設計特論	1前	2						兼1
	ナノマテリアル工学特論	1後	2						兼1
	機能高分子工学特論	1前	2						兼1
バイオ・メディカル分野	シルク利用工学	1後	2						兼1
	バイオフィバー科学	1前	2						兼2
	医用材料特論	1後	2						兼1
	繊維生物資源学	1前	2						兼1
	生体分子機能科学	1後前	2						兼1 時間割調整のため(28)
	バイオマス利用工学	1前	2						兼1
バイオメテック科学	1後通	2						兼1 時間割調整のため(28)	
スマート分野	複合材料設計学特論	1後	2						兼1
	e-Textile設計特論	1後	2						兼1
	プロテクティブテキスタイル特論	1後	2						兼3
	テキスタイルデザイン特論	1後	2						兼1
	先進繊維計測学特論	1前	2						兼1
	繊維集合体特論	1後	2						兼1
感性・ファッション工学分野	ファッションデザイン論	1後前	2						兼1 時間割調整のため(28)
	衣服設計論	1後	2						兼2
	感性情報工学特論	1前	2						兼1
	感性製品計測・評価法特論	1後	2						兼1
	製品生理学特論	1前	2						兼1
	繊維製品生産論	1後	2						兼1

- (注) ・ 設置計画書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に設置された大学等は設置時)より変更されているものは赤字で見え直し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について、設置計画時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度設置以前)についても、設置時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え直し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
37	95	0	132	37	95	0	132	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1						
2				該当なし		
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1						
2				該当なし		
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">該当なし</div>

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
	校舎敷地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	運動場用地	m ²	m ²	m ²	m ²			
	小 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
	そ の 他	m ²	m ²	m ²	m ²			
	合 計	m ²	m ²	m ²	m ²			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)	m ² (m ²)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		
		室	室	室	室 (補助職員 人)	室 (補助職員 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
					室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	
	〇〇学部	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
	計	[] ([])	[] ([])	[] ([])	()	()	()	
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数				
		m ²						
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					
		m ²						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	千円	千円	図書購入費	千円	千円	千円
	共同研究費等	千円	千円	設備購入費	千円	千円	千円	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		千円	千円	千円	千円	千円	千円	
		学生納付金以外の維持方法の概要						

(注) ・ 設置時の計画を、設置計画書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成28年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(28)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

4 既設大学等の状況

大学の名称	信州大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学員	編入学員	収容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文学部									
人間情報学科	4	—	—	—	学士(文学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成25年度より学生募集停止
文化コミュニケーション学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
人文学科	4	155	3年次 5	630	〃	1.05	平成25年度	〃	〃
教育学部									
学校教育教員養成課程	4	240	—	900	学士(教育学)	1.02	平成11年度	長野県長野市大字西長野6の口	
特別支援学校教員養成課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	平成28年度より学生募集停止
生涯スポーツ課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
教育カウンセリング課程	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
経済学部									
経済学科	4	—	3年次 20	—	学士(経済学)	—	昭和53年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
経済システム法学科	4	—	3年次 10	—	〃	—	平成7年度	〃	〃
経法学部									
応用経済学科	4	100	—	100	学士(経済学)	1.07	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
総合法律学科	4	80	—	80	学士(法学)	1.17	〃	〃	
理学部									
数理・自然情報科学科	4	—	—	—	学士(理学)	—	平成7年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止
物理科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
化学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
地質科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
生物科学科	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
物質循環学科 (各学科共通)	4	—	—	—	〃	—	〃	〃	〃
数学科	4	54	3年次 10	108	〃	1.04	平成27年度	〃	〃
理学科	4	151	—	302	〃	1.01	〃	〃	〃
医学部									
医学科	6	120	—	703	学士(医学)	0.99	昭和26年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学科	4	143	3年次 17	606	学士(看護学) 学士(保健学)	1.02	平成15年度	〃	〃
看護学専攻	4	70	3年次 10	300	学士(看護学)	1.00	平成15年度	〃	〃
検査技術学専攻	4	37	3年次 3	154	学士(保健学)	1.00	平成15年度	〃	〃

理学療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.10	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃	
作業療法専攻	4	18	3年次 ₂	76	学士(保健学)	1.06	平成15年度		〃	
工学部										
機械システム工学科	4	—	3年次 ₃	—	学士(工学)	—	平成10年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	〃	平成28年度より学生募集停止
電気電子工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成元年度		〃	〃
社会開発工学科	4	—	—	—	〃	—	〃		〃	平成20年度より学生募集停止
土木工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成20年度		〃	平成28年度より学生募集停止
建築学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃		〃	〃
物質工学科	4	—	3年次 ₃	—	〃	—	平成10年度		〃	〃
情報工学科	4	—	3年次 ₅	—	〃	—	平成元年度		〃	〃
環境機能工学科	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	平成10年度		〃	〃
物質化学科	4	95	—	95	学士(工学)	1.02	平成28年度		〃	
電気情報システム工学科	4	170	—	170	〃	1.04	〃		〃	
水環境・土木工学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃		〃	
機械システム工学科	4	100	—	100	〃	1.09	〃		〃	
建築学科	4	60	—	60	〃	1.06	〃		〃	
農学部										
食料生産科学科	4	—	—	—	学士(農学)	—	平成9年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	〃	平成27年度より学生募集停止
森林科学科	4	—	—	—	〃	—	〃		〃	〃
応用生命科学科 (各学科共通)	4	—	3年次 ₁₀	—	〃	—	〃		〃	〃
農学生命科学科	4	170	—	340	〃	1.06	平成27年度		〃	
繊維学部										
先進繊維工学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(工学)	—	平成20年度	長野県上田市常田3丁目15番1号	〃	平成28年度より学生募集停止
感性工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
機能機械学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
バイオエンジニアリング課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
応用化学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
材料化学工学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
機能高分子学課程	4	—	3年次 ₂	—	〃	—	〃		〃	〃
生物機能科学課程	4	—	3年次 ₁	—	〃	—	〃		〃	〃
生物資源・環境科学課程	4	—	3年次 ₁	—	学士(農学)	—	〃		〃	〃
先進繊維・感性工学科	4	65	—	65	学士(工学)	1.09	平成28年度		〃	
機械・ロボット学科	4	60	—	60	〃	1.03	〃		〃	
化学・材料学科	4	105	—	105	〃	1.01	〃		〃	
応用生物科学科	4	50	—	50	学士(農学)	1.00	〃		〃	

大学の名称	信州大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
人文科学研究科									
地域文化専攻	2	5		10	修士(文学)	0.30	昭和57年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
言語文化専攻	2	5		10	"	1.40	"	"	
教育学研究科									
学校教育専攻	2	20		28	修士(教育学)	1.41	平成3年度	長野県長野市大学西長野6の口	平成28年度より学生募集停止
教科教育専攻	2	—		—	"	—	"	"	
高度教職実践専攻	2	20		20	教職修士(専門職)	1.05	平成28年度	"	
経済・社会政策科学研究科									
経済・社会政策科学専攻	2	6		12	修士(経済学)	0.91	平成元年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
イノベーション・マネジメント専攻	2	10		20	修士(マネジメント)	0.90	平成15年度	長野県長野市若里4丁目17番1号	
理工学系研究科									
数理・自然情報科学専攻	2	—		—	修士(理学)	—	平成24年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成28年度より学生募集停止
物質基礎科学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
地球生物圏科学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
機械システム工学専攻	2	—		—	修士(工学)	—	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	"
電気電子工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
土木工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
建築学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
物質工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
情報工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
環境機能工学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
繊維・感性工学専攻	2	—		—	"	—	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	"
機械・ロボット学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
化学・材料専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
応用生物科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	"	"	"
農学研究科									
食料生産科学専攻	2	—		—	修士(農学)	—	平成13年度	長野県上伊那郡南箕輪村8304	平成28年度より学生募集停止
森林科学専攻	2	—		—	"	—	平成4年度	"	"
応用生命科学専攻	2	—		—	"	—	平成13年度	"	"
機能性食料開発学専攻	2	—		—	"	—	"	"	"
総合理工学研究科									
理学専攻	2	75		75	修士(理学)	0.73	平成28年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
工学専攻	2	240		240	修士(工学)	1.00	"	長野県長野市若里4丁目17番1号	
繊維学専攻	2	160		160	修士(工学) 修士(農学)	1.18	"	長野県上田市常田3丁目15番1号	
農学専攻	2	65		65	修士(農学)	0.89	"	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
生命医工学専攻	2	35		35	修士(医工学)	1.08	"	長野県松本市旭3丁目1番1号 長野県長野市若里4丁目17番1号 長野県上田市常田3丁目15番1号 長野県上伊那郡南箕輪村8304	

医学系研究科									
医科学専攻（修士課程）	2	12		24	修士(医科学)	1.08	平成14年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	
保健学専攻（博士前期課程）	2	14		28	修士(看護学) 修士(保健学)	1.14	平成19年度	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	40		160	博士(医学)	1.04	平成24年度	〃	
疾患予防医科学系専攻（博士課程）	4	8		32	〃	1.02	〃	〃	
医学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	平成24年度より学生募集停止
臓器移植細胞工学医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成12年度	〃	〃
加齢適応医科学系専攻（博士課程）	4	—		—	〃	—	平成15年度	〃	〃
保健学専攻（博士後期課程）	3	4		12	博士(保健学)	1.33	平成21年度	〃	
総合工学系研究科									
生命機能・ファイバー工学専攻	3	15		45		0.75	平成17年度		
システム開発工学専攻	3	12		36	博士(学術)	1.02	〃	長野県松本市旭3丁目1番1号	
物質創成科学専攻	3	7		21	博士(理学)	0.71	〃	長野県長野市若里4丁目17番1号	
山岳地域環境科学専攻	3	8		24	博士(工学)	0.74	〃	長野県上田市常田3丁目15番1号	
生物・食料科学専攻	3	7		21	博士(農学)	1.09	〃	長野県上伊那郡南箕輪村8304	
法曹法務研究科									
法曹法務専攻	3	—		—	法務博士(専門職)	—	平成17年度	長野県松本市旭3丁目1番1号	平成27年度より学生募集停止

- (注) ・ 本調査の対象となっている大学等の設置者（国立大学法人）が設置している全ての大学（学部，学科）及び大学院（専攻）（AC対象学部等含む）について，それぞれの学校種ごとに，平成28年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・ 学部の学科または研究科の専攻等，「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には，課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ※なお，課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は，法令上規定されている組織上の最小単位（大学であれば「学科」，短期大学であれば「専攻課程」）でも記載してください。
 - ・ 専攻科に係るものについては，記入する必要はありません。
 - ・ AC対象学部等についても必ず記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には，標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで（小数点以下第3位を切り捨て）を記入してください。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合，入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし，「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<総合理工学研究科 生命医工学専攻>

(1) 担当教員表

設置時の計画					変更状況					備考
専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼担・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	

- (注) ・ 設置計画書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 なお、当該設置に係る研究科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)〉の箇所を「共通」とし、表を分けて作成してください。
 ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成28年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 ・ **意見伺いで設置された学部等の専任教員を変更する場合は、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「〇年〇月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。
 ・ **「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。**

(2) 専任教員数等

(2) - ① 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計 (A)	教授	准教授	講師	助教	計 (B)
9	6	1	6	22	9	8	0	8	25	9	8	0	8	25
(9)	(8)	(0)	(8)	(25)						[0]	[2]	[Δ1]	[2]	[3]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
22	0	0			21	0	4			22	0	3		
(21)	(0)	(4)								[0]	[0]	[3]		

- (注) ・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ② 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢（歳）	報告書提出時（上記(A)）の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時（上記(B)）の教員うち、定年を延長して採用する教員数
65	0	0

- (注) ・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成28年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
合計 (A)					後任補充状況の集計 (B)					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 設置時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、設置時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計 (C)					後任補充状況の集計 (D)					
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (A) + (C)					後任補充状況の集計 (B) + (D)					
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
人	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目	必修	科目
	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目	選択	科目
	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目	自由	科目
	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目	計	科目

- (注) ・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。
 ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (〇〇年〇〇月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (△△年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

7 その他全般的事項

<総合理工学研究科 生命医工学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）
 - ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、当該項目を記載する必要はありません。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>b 実施方法</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等</p>
--

- (注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
- 「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）
- ・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
② 自己点検・評価報告書
a 公表（予定）時期
b 公表方法
③ 認証評価を受ける計画

- (注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。
・ 「事前伺い」により設置された学部等については、本項目を記載する必要はありません。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書	
a ホームページに公表の有無	(<input checked="" type="radio"/> 有 ・ 無)
b 公表時期（未公表の場合は予定時期）	(平成 28年 6月 1日)